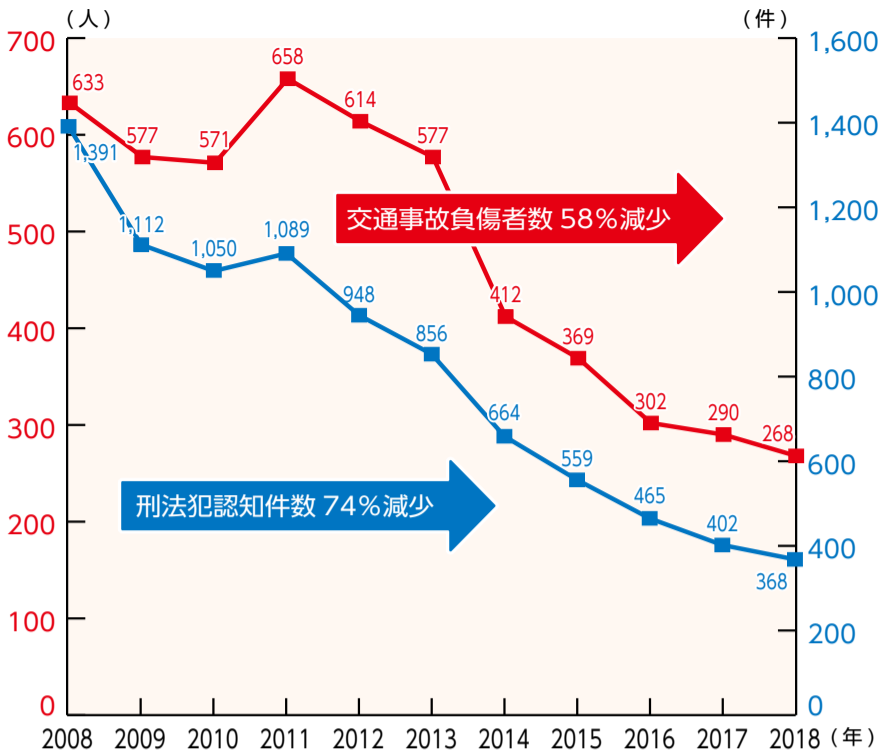


数字で見る亀岡市の安全安心



出展:亀岡警察署

セーフコミュニティ 推進のまち亀岡 ～安全安心のまちづくり～

「安全安心」の継続した取り組み
「ケガや事故は偶然の結果ではなく予防することが出来る」というセーフコミュニティの理念に基づき、亀岡市では、「交通安全」、「防犯」、「自殺対策」、「高齢者の安全」、「スポーツの安全」、「乳幼児の安全」の6つの重点課題を設定してセーフコミュニティ活動に取り組み続けています。平成30年11月、亀岡市は3度目のセーフコミュニティの認証を受け、この10年間あまりの間に、亀岡市内の犯罪や交通事故などは大きく減少しています。

あなたの「ドライブ」で、安全安心のまちづくりを!
亀岡市では、車のドライブレコーダーをまちな見守りに活用する「まち・レコプロジェクト」や、みんなで安全運転に取り組み「セーフティドライブプロジェクト」を進めています。同プロジェクトに参加された人には、車の後ろに貼るマグネット（またはステッカー）をお渡ししています。またこのほど、これまでの半分の大きさのマグネットとステッカーを製作し、大小いづれか選択いただけるようになりました。より貼りやすくなりましたので、まだ参加されていない人もぜひ登録してください。



申請方法(共通)
○スマートフォンで二次元バーコードを読み取って画面上から必要情報を入力

○または申請書に記入して市役所（6階自治防災課）に提出することも可能です
※申請書は市役所窓口のほか、市ホームページからダウンロードできます
詳しくはこちら



1月12日、市消防団や市自主防災会、京都中部広域消防組合など消防関係者1,153人が一堂に会する「亀岡市消防出初式」を開催しました。

「火災ゼロ」の決意、新たに 亀岡市消防出初式を開催

亀岡中学校体育館で行った式典では、桂川市長らが消防・防災分野で功績のあった個人や団体を表彰。また今年度は、畑野分団に対し、亀岡市長表彰（優秀表彰まとい）を贈呈しました。

式典の後、市内の幼稚園・保育園の子どもたちで結成する幼年消防クラブと消防車両を加え、会場から南郷公園まで市中行進を行いました。園児たちは笑顔で元気いっぱい、出初式を盛り上げました。

最後は、南郷公園において



市消防分団全19分団と亀岡消防署のはしご車による「火災ゼロ」と1年の安全を願って一斉放水を実施。力強い放水のアーチに、観客の皆さんからは歓声が上がりました。

亀岡市は、これからも各種団体と協力・連携しながら「災害に強い安全・安心なまちづくり」を推進してまいります。

やさしい健康講座 第141回

市民の皆さんの健康に関して、今回は市立病院の医師が、専門分野についてアドバイスをします。

岡田 頼久 亀岡市立病院 内科部長 専門分野 肝臓病学、消化器病学

肝炎を起こすウイルスについて
今回は肝炎を起こすウイルスを紹介いたします。

(1) A型肝炎
食物、水から感染します。不潔な飲み水や牡蠣などの貝の生食は要注意で、海外旅行では事前にワクチン接種が望ましいです。

(2) B型肝炎
血液、体液を介して感染します。血液製剤不潔な注射針の使用、性行为、出産などが原因となります。日本では出産時に感染する母子感染が多かったですが、ワクチンの普及により減少しました。最近では性行為による感染が増えています。

(3) C型肝炎
血液を介して感染します。多くは血液製剤や注射針による感染でしたが、現在は輸血による感染は殆どありません。70%が慢性化しますが、治療薬の進歩により完治がほぼ可能となりました。

(4) E型肝炎
食物を介して感染します。野生の猪、鹿、豚（特に肝）にも感染が確認されています。

(5) EBウイルス、サイトメガロウイルス
唾液を介して感染します。多くは若年成人で咽頭痛、発熱などが見られます。

肝臓は「沈黙の臓器」であり、肝炎と気づかずに風邪として様子を見るうちに自然に軽快している場合もあります。多くは急性肝炎で治癒しますが、慢性化や時に劇症化すれば命にも関わります。予防できるものが多いですので、ご注意ください。